

冬季の暴風の際は、天気予報や交通情報を再確認してください。これらのガイドラインは、お出かけの前の準備に役立つでしょう。

## 冬季の車のメンテナンス

- 天候が悪くなる前に、確実に車がきちんとサービスされ、メンテナンスされているようにします。電気系統、ブレーキ、バッテリー、ライト、ワイパー、不凍液、暖房冷房システムの調子を万全にしておきます。
- タイヤをチェックします。とても重要なことです。タイヤの空気圧が適切であり、十分に溝があることを確認します。早めに計画を立てましょう。冬の嵐の際は、タイヤの販売店が最も忙しい時です。
- この「Take Winter By Storm」チェックリストを利用して、自動車用緊急時キットを準備します。これにはラジオ、懐中電灯、予備の電池、救急箱、緊急連絡先情報、水、保存食を含めます。詳細なリストは、[TakeWinterByStorm.org](http://TakeWinterByStorm.org) をご覧ください。
- あなたの車に冬の天候下での走行用の品目（予備の暖かい衣類、毛布、小型シャベル、砂や固まらない猫砂、緊急照明弾、除氷材、タイヤチェーン、アイス・スクレーパーなど）が整っているか再確認します。
- 気温が下がるにつれ、ガソリンタンクが常に少なくとも半分満たされているようにします。余分にガソリンを入れておくと、燃料システムに氷が詰まったり、さらに低温の天候下でエンストする可能性が少なくなります。
- 車の定期点検で完全な整備状態に保つことで、高価な修理を避け、CO<sub>2</sub>の排気を削減し、最適な燃費が得られるようにします。
- タイヤチェーンを搭載し、運転する車のタイヤにきちんと合うことを再確認します。

## 自家用車に積んでおく追加の品目\*

- 携帯用の水
  - 1日1人あたり16オンス（約454ミリリットル）のボトル4本（頻繁に交換すること）
- 保存食
  - 簡単に開封できる棒状のスナック、トレイルミックス、クラッカー
- 個人用の薬を含む救急箱
- 懐中電灯と予備の電池
- 緊急連絡先カード
  - 自動車保険情報と一緒に保管
- 各搭乗者の冬季用衣服
  - 各搭乗者の外套、ブーツ、帽子、手袋/ミトンやマフラー、車から避難する場合に備えて暖かさを保つもの。
- 助けを求めるための笛
- 携帯用カイロ
- 各搭乗者用毛布
- 雨具
- 緊急照明弾や沿道用の鮮明な交通標識（ロードコーン、警告用三角板）
- 安全ビーコン/閃光灯
- ツールキット
  - 調節式スパナ、可変ドライバー（マイナス、スクエア、十字）、金づち、けん引ロープ、ダクトテープを入れる
- 車用の解氷剤
- アイス・スクレーパー/ブラシ
- ブースターケーブル
- 小型シャベルと滑り止め補助品（砂、固まらない猫砂、チェーン）
- 紙、ペンや地域の地図（予定走行経路を示す）
  - 車を置いていく必要がある場合、その後の移動プランを他に知らせるメモを残しておきます
- 携帯電話の充電器および/または予備の電池
- 各人の消毒用ウェットティッシュ、ごみ袋やプラスチックの結びひも

\*自家用車用に、より詳細な個人用準備キットのリストを作るには、[TakeWinterByStorm.org](http://TakeWinterByStorm.org) をご覧ください。

冬季の運転および旅行。完璧な天候下でも運転は大変です。悪天候が到来したら、さらに予防策を講じることが重要です。

- 悪天候が予想される場合、お出かけの前に天気予報を確認し、可能であれば旅行計画を調整してください。悪天候が予想される場合、旅行を延期することも考慮してください。
- 水溜りには気をつけましょう。ハイドロプレーニング現象を起こす場合があります。また、橋や陸橋は最初に凍結することを忘れないでください。橋や陸橋には慎重に近づき、突然の方向転換を避けてください。
- ハイビームは使わないでください。冬季の天候条件下では、大抵視界が限られています。日中でも夜間でも、ヘッドライトをオンにして、ロービームに設定してください。
- ワイパーをオンにしてください。当然ですね？ ですが、最適なパフォーマンスを得るためにワイパーブレードは必ず6から12ヶ月ごとに交換するようにしてください。
- 深い水溜りの中や道路閉鎖標識を超えて走行しないでください。水が思ったよりも深い可能性があります。水溜りの中を走行することは、洪水による死亡の主な原因です。洪水で、危険な道路の損傷や、切れて垂れ下がっている電線が隠れている場合があります。水が引いて、道路が安全に再開されるまでは閉鎖標識に従って、Uターンしてください。溺死しないように！
- 鉄砲水によって車の周囲の水位が上がったら、安全に行動可能な場合は、車を捨てて、高台に移動してください。車と共に急に流されてしまう場合があります。夜間の走行は、特に用心してください！
- 路面に雪がある場合、必要がない限り出かけないようにしてください。自宅にいる方があなたや他の人にとって安全です。出かける必要がある場合、地域の道路閉鎖情報を確認し、最も安全で最も事故の生じにくいルートをとるようにしてください。
- お出かけの際は、氷結による危険、とりわけ日陰になっている道路、橋や高台などの凍結しやすい場所に気をつけてください。
- 出かけなければならない場合、幹線道路を運転するようにし、予備の暖かい衣類、毛布、小型シャベル、砂や固まらない猫砂、緊急照明弾、除氷材、タイヤチェーン、アイス・スクレーパーなどを備えてお出かけください。
- 出発前に、ウィンドウやミラーを霜取りして視界が最大限になるようにしてください。ACをオンのままにして、走行中に曇らないようにします。
- 強風の際は、用心してください。飛び散る破片に注意し、軽量の積荷を運搬しているトレーラー、バンなどにとりわけ注意してください。走行すべきでない車もあります。強風の中では、トレーラー、バン、車高の高い車は運転しないのが最善です。
- 厳しい天候下では、スピードを落とし、車間距離を長めに保ってください。濡れたり、凍結している路面では、停止するのに長く時間がかかるため、前の車との距離を3~4秒ではなく、8~10秒あけるようにしてください。大型トラックは停止距離がさらに長くなります。
- 四輪または全輪駆動車は、凍結した路面で二輪駆動車よりもより確実に停止、操縦できるわけではありません。
- 積雪や凍結条件下で、複数車線の道路を運転している場合、もっとも空いた車線にとどまり、不必要な車線変更をしないでください。車線を変更する際は、その意図を知らせるために必ず方向指示器を使用してください。
- ステアリングとブレーキは、積雪や凍結した路面ではより困難になります。スムーズかつ慎重に、ステアリングを行ってください。制御を失う原因となる急ブレーキは避けてください。アンチ・ロック・ブレーキでは、ペダルに一定の強い圧力をかけます。衝突を避けるなどの、回避行動を取る必要がある場合、可能であれば、ブレーキを使うのではなく、ステアリングで避けるのがベストです。
- 雪にはまって動けなくなった場合、車輪をまっすぐにして、ゆっくりとアクセルを踏み、タイヤがスピンしないようにします。車から出ても安全な場合、緊急照明弾を使って他の車にあなたの車の存在を警告したり、車輪の下に砂をまいたり、シャベルで除雪したりします。車輪がそれでもスピンし続け、抜け出すことができない場合は、車から出ないでください。緊急用の点滅灯と電話で支援を求めてください。
- 厳しい天候下での運転中は、道路メンテナンス車両に出会う場合があります。スピードを落として、邪魔にならないようにし、路面をクリアにする作業に十分なスペースがあるようにします。道路メンテナンス車両の後ろになったら、安全に追い越しできるようになるまで後ろを運転します。メンテナンス車両は、作業中限られた視界しかありません。
- スピードを落とし、チェーンの取り付け、取り外しエリア付近ではとりわけ注意してください。それらのエリアでは、人々がよく車から降りています。
- 吹雪で車を置いていく必要がある場合、他の車や除雪装置の邪魔にならないように、安全な限りできるだけ路上から離れた場所に停車します。
- 悪天候下に路上で車から出る必要がある場合、反射テープや点滅灯などの反射物を使って、通過車両から良く見えるようにします。
- 凍結や積雪の間、公共交通機関サービスは、一時路線変更、キャンセル、または遅延となる場合があります。利用するバスの積雪時の経路を調べ、遅れを予想してください。冬季の公共交通機関の運行予定表リンクおよび公共交通機関チェックリストは、[TakeWinterByStorm.org](http://TakeWinterByStorm.org) で検索できます。